

寅年

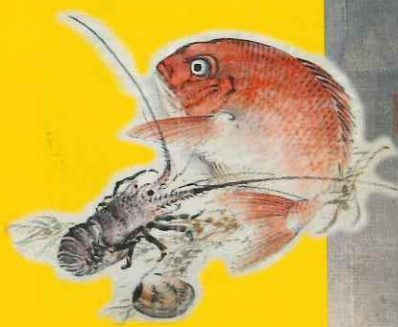
・新春記念展

丹波を 訪れた 匠たち

虎の舞



翠石居士梅宇一節主
美濃大垣新街匠大
延三郎之次男也母
古安氏名里次男也而
兼常長山家肥山氏
翠石和而修画死
秋拾遺非尋常人之比
也年卅五歲始入我
門研術不廢初覺染泥
淋漓如神遂成一派風
情出畫之憂取於面那有
時時之妙虎子之介於佛圖
大佛見愛金屏一等寶可謂
最精粹邦美術彫彩於兼小島
里之造者美而末名最稱甚近
天國十日之象守微画因居在時拜
圖巨幅以進映焉 桐宮傳宮相由中
子留常臨其白石若十五子辰之畫而時
家此宋物為美哉昔年三十有七以臨則
美原圖也今反法成七一言在時雖不可
料時後由以運為宜故嚴於秘而示于孫也
明治五十年十月中 祝 蘇堂戸田共



令和4年1月15日(土)

3月13日(日)

<休館日>月曜日

<開館時間> 10時~17時(入館は16時30分まで)

<観覧料> 一般 600円(500円)
大学・高校生 ... 300円(200円)
小・中学生 150円(100円)

※()内は20名以上の団体割引料金、ココロカード利用可、小学生未満は無料

関西文化の日 プラス
令和4年1月29日(土)、30日(日)
の2日間は終日、
観覧料無料でご入館いただけます

- <主催> 丹波市教育委員会、丹波市立植野記念美術館
- <特別協力> 村田 隆志(大阪国際大学国際教養学部教授、近代日本画・南画研究者)※大橋翠石作品展示監修者
- <協力> 株式会社西山酒造場、山名酒造株式会社、石像寺、岡林写真館、春日歴史民俗資料館、京都市美術館、三木市立堀光美術館、京都市立芸術大学芸術資料館、鉄斎堂、真宗大谷派 東本願寺、清荒神清澄寺 鉄斎美術館、小林美術館
- <後援> 神戸新聞社、朝日新聞神戸総局、毎日新聞神戸支局、読売新聞豊岡支局、丹波新聞社、NHK神戸放送局、サンテレビジョン、ラジオ関西



丹波市立
植野記念美術館

〒669-3603
丹波市水上町西中615-4
TEL 0795-82-5945

